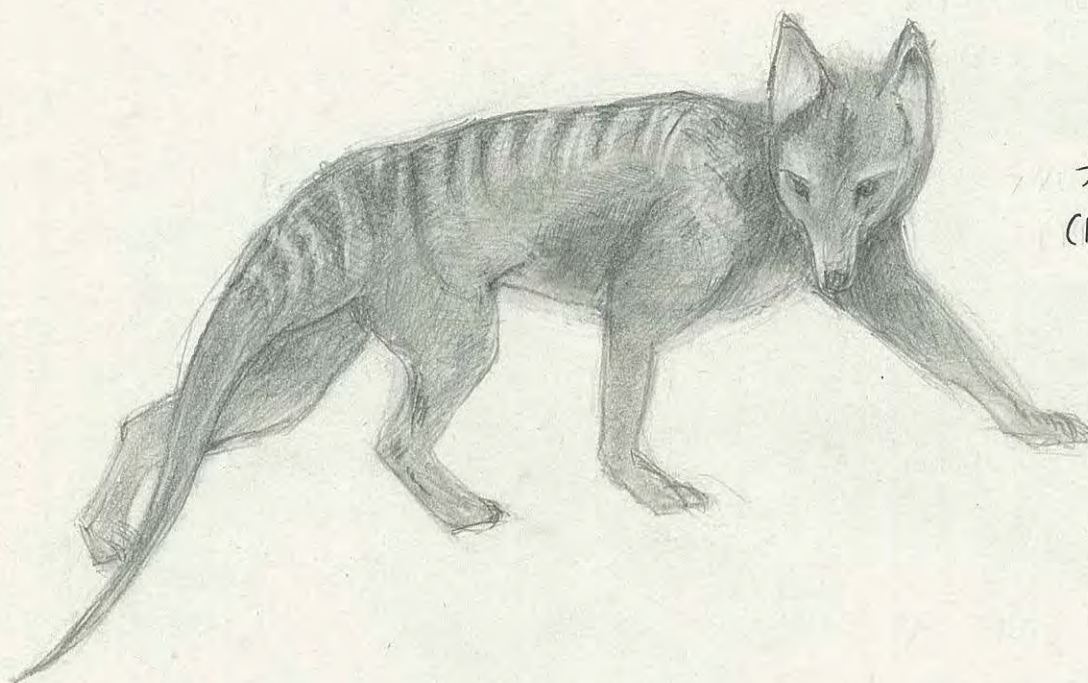


企画タイトル：

**「不思議の国へようこそ！
絶滅動物に会いに行こう」展**

氏名：



フクロオオカミ
(1933年に絶滅)

意図

私は「不思議の国へようこそ！絶滅動物に会いに行こう」という展覧会の企画を考えた。

種の絶滅という人間が過去に犯した過ちは消えない傷跡である。

一方、未来というものはこれからの私たちが作り出すものである。

現代を生きる子供たちに今まで人間が絶滅させてきた動物を知ってもらおう。

そして今まさに滅びようとしている絶滅危惧種の動物たちのことも考えてもらう。

そうすることで、改めて人間が犯した過ちを伝え、現状を改善する未来への力となっほしい。

今回の展覧会では、同時に美術作品の展示を行う。

それは、美術とは人の想像力で生まれそれが具現化されたものであるからだ。

子供たちの想像力は果てがない。

どの子供も持っている内なる心を引き出すために美術に親しみ、想像力を高めそれを引き出すことが必要なのではないだろうか。

美術と絶滅動物、人間が創り出したものと、人間が絶滅させたものという2つを組み合わせることで子供たちに過去の人々がやってきたこと、今いる動物がこれからどうなるかを想像させ、どう解決できるかを考えられる子供たちを育てていきたい。

以上の理由で私はぜひこの企画を実現させたいと考えている。

内容

エレベーターで一気に52階まで行き、エスカレーターを使い徐々に見えてきた「不思議の国へようこそ！絶滅動物に会いに行こう」展のエントランスに着いた。

エントランスの左側が入り口で、右は出口のようだ。

入り口から入るとキャプションが目に入る。

森の遺跡を意識したのか、緑のなかの岩に文字が書かれていた。

子供を意識して書かれたキャプションの内容のようだ。

森をぬけた次の展示はリアルなぬいぐるみであった。

どうやらこの動物たちは等身大で作られた絶滅した動物のようだ。

絶滅動物が三次元、立体として私の目の前にいる。

平面の世界でしか知らなかった動物たちだから、後ろ姿が飛び出してきたように感じる。

周りを見ると、小さな子供たちが見慣れない動物のぬいぐるみたちを触っていた。

私の身長のお二倍ぐらひはある鳥と、子供たちが背比べをしていた。

それを写真に収めるのがどうやら人気らしい。

私はそこで思う存分、好きな動物を撫でた。

撫でてみたところ毛並は触り心地がよく、実際に昔いた動物が今触ることができていたらこんな触り心地なのだろうと実感ができてきた。

ぐるりと置いてある絶滅動物のぬいぐるみを見てみると、どうやら一種につき一休ずつしか置いていないようだ。

子供たちはその動物を共有し大切に扱っているように見えた。

次のコーナーには、絶滅動物が生きていた時に撮れた映像と、アニメーションやCGなどを使った映像が流れていた。

さっき撫でていた動物が映像という箱のなかで動いていた。

見ていると私は、地球の一員であったこの動物が、なぜこの地球にいなくなってしまったのだろうかということを考え始めていた。

子供たちはどう感じているのだろうかと思ひながら、私は次のコーナーに進んだ。

先ほど見てきた部屋よりもここは広く、飾られている動物、美術作品が広がっていた。

ここがこの展覧会のメイン室ようだ。

このコーナーには絶滅動物と美術作品が並べられていた。

まず、アメリカに住んでいた鳥、リョコウバトを描いたオーデュボンの作品が飾られていた。

次に北アフリカにいたバーバリライオンをモチーフに古代のエジプト人が作ったセクメト女神や、ウミベミンクの毛皮で作られたコートが飾られていた。

他には、現在生きている作家が絶滅動物に思ひをはせて描いた作品もあった。

提出課題：「空想の〇〇〇」のプロデューサーとして自由にプランを企画してください。

私は絶滅動物と美術作品を対比させている意味は、なんだろうと考えた。

人間が犯した悪い部分と人間の想像力が生み出した素晴らしい部分を、子供たち、今を生きる私たちに伝えたいのだと感じた。

次のコーナーには、現在の絶滅危惧種動物が描かれた作品が展示されていた。

私は絶滅危惧種動物が次の絶滅動物になってしまうという啓示のように受け取れた。

私も、きっと子供たちも、描かれた動物を「絶滅させたくない」という気持ちになったと感じた。

最後のコーナーは、この展覧会で受け取れたもの、つまり動物の絵を描く場所のようだ。

机の上には専用の紙と大量の色鉛筆が置いてあった。

そして描いた動物をすぐにスキャンし3Dの映像にできるようだ。

絵にした動物と絶滅動物が映像を使って立体的に動き回っていた。

私は絶滅の動物を思いながら、空想の動物として私が思う美しい鳥を描いた。

私には今まで見てきた絶滅動物と人間が行った行為を振り返ることにより、今を生きる私たちと死んでいった動物が視覚化されて共存しているように見えた。

私はエントランスに戻り、一周したことでこの展示をすべて見終えた。

回ってきたことで私は入り口をもう一度見て、もう一周した。

戻ってきたことでフロアが円という構造をしているのがふと、地球の丸さに感じられた。

私は動物に対して同じ過ちを繰り返さないようにしなければならないと思った。

どの動物も二度と戻ってこない。

絶滅動物を考えながら、森美術館を出たところで見えたのは、都会にいる大勢の人々の姿だった。

リアルぬいぐるみ：HANSA

- ・ サーベルタイガー（12000年前に絶滅）
- ・ ドードー（17世紀頃に絶滅）

映像：アニメ

- ・ 参考：『ドラえもん のび太と奇跡の島～アニマルアドベンチャー～』
 中には、ドードー、フクロオオカミ、クアッガ、ジャイアントモア
 など、様々な絶滅動物が登場している。

絶滅動物と美術作品

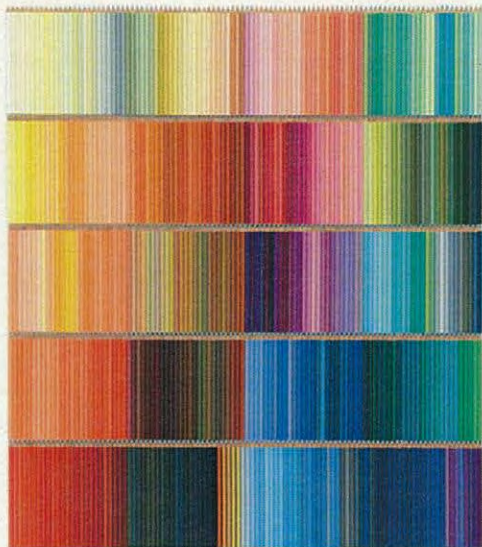
- ・ リョコウバト（1914年に絶滅）
 オーデュボンの絵
 キューバ 1974年の切手
 清川あさみ「悲しきりょこうばと」
- ・ バーバリライオン（1922年に絶滅）
 セメクト女神の像
 セティ1世王墓の玄室天井絵
- ・ ウミベミンク（1880年に絶滅）
 ミンクの毛皮で作られたコート
- ・ コーカサスバイソン（1925年に絶滅）
 ラスコー洞窟壁画
 ソチ国立公園の切手
- ・ ポリネシアマイマイ（1970～90年に絶滅）
 マイマイの抜け殻

絶滅危惧種の動物たち

- ・ 万野幸美：『絶滅危惧種 メンブクロウとイヌワシ』
- ・ 清川あさみ：『もうひとつの場所』より『エンペラータマリンの箱』
- ・ 佐藤 潤：『世界樹』

(※画像省略。提出原本ではすべて画像付き。)

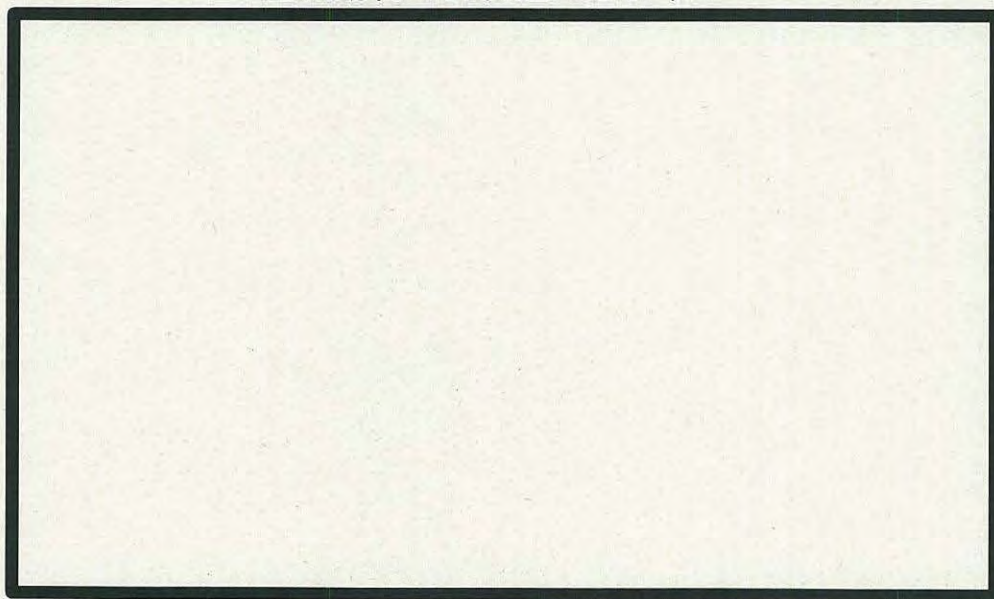
お絵かきコーナーに置いてあるもの



左：FELISSIMOの500色の色鉛筆

下：専用用紙

未来の動物や架空の動物などの想像をかいて、
絶滅動物のお友達にしよう！

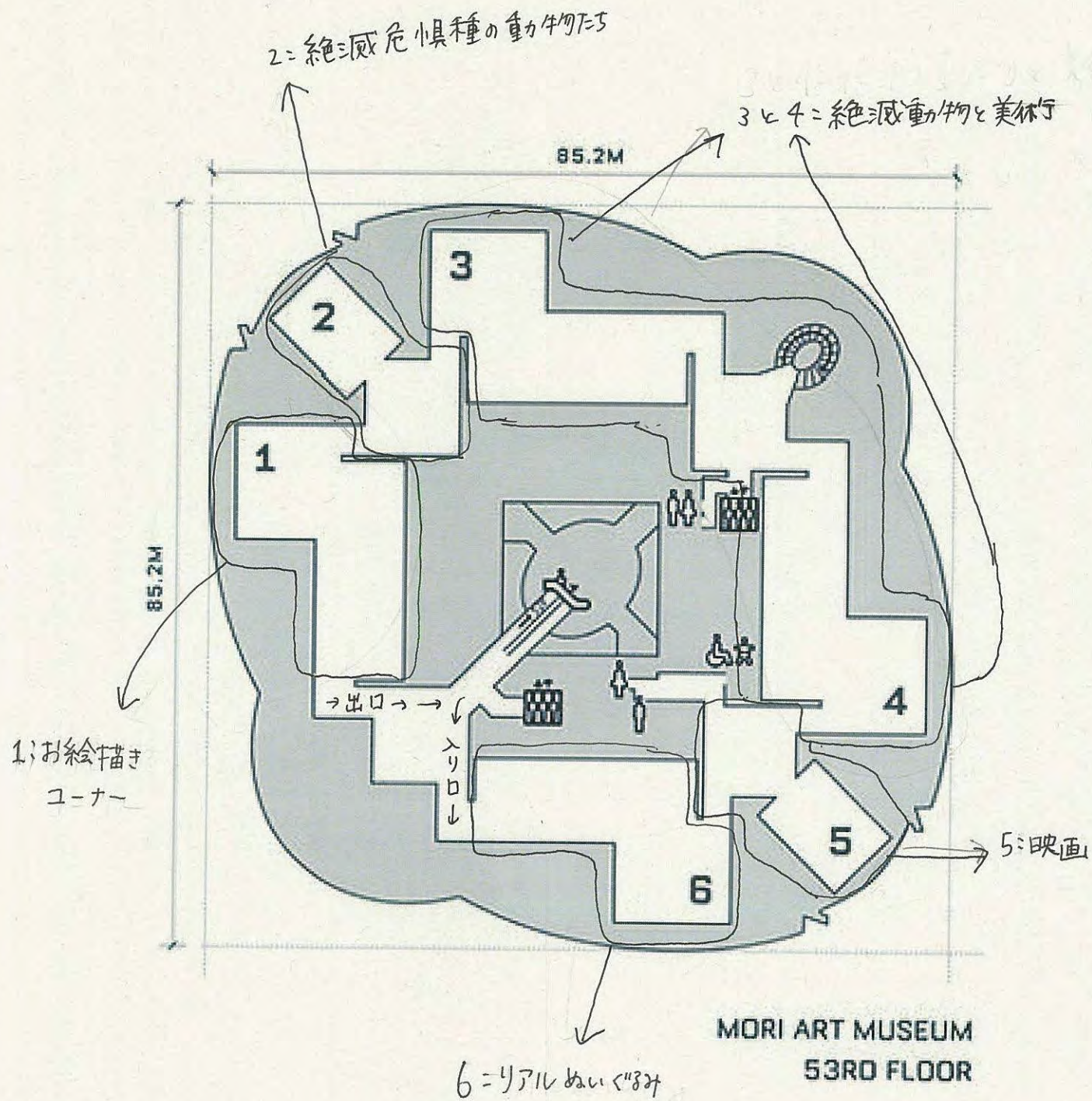


* 黒い枠の中に絵をかいてね。
絵が完成したら、係の人に渡してね！

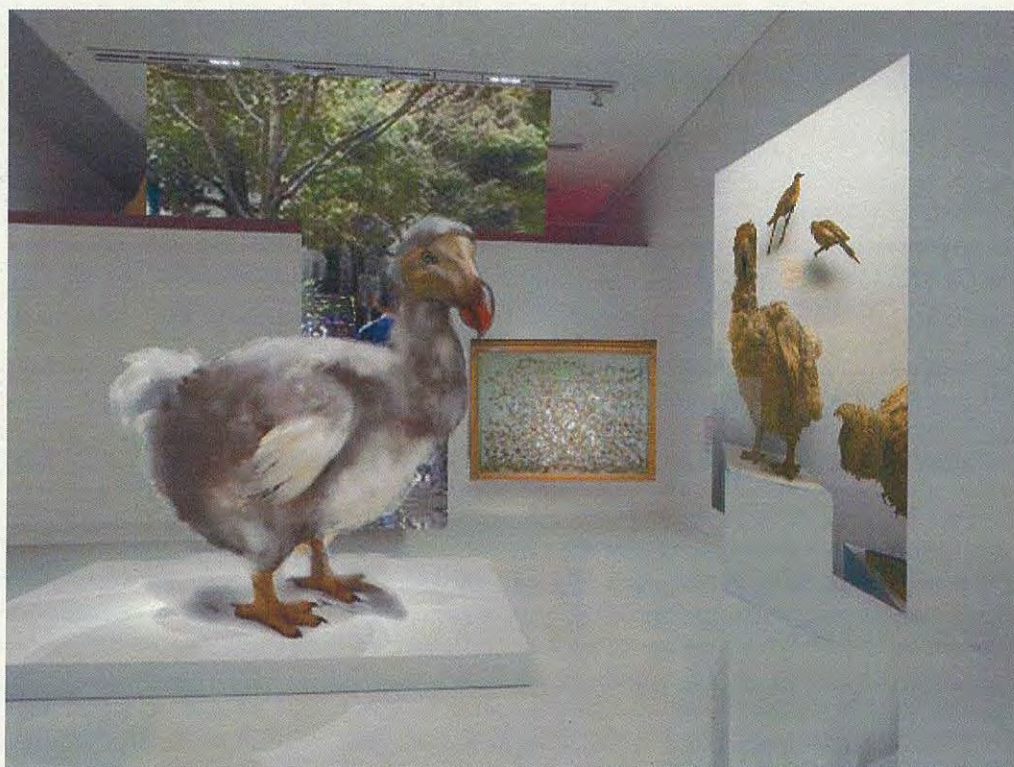
なまえ： _____

提出課題：「空想の〇〇〇」のプロデューサーとして自由にプランを企画してください。

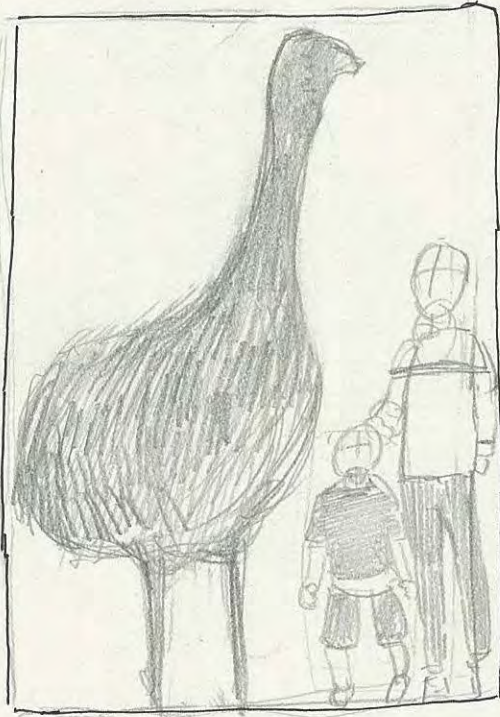
会場：森美術館



エントランスの展示イメージ



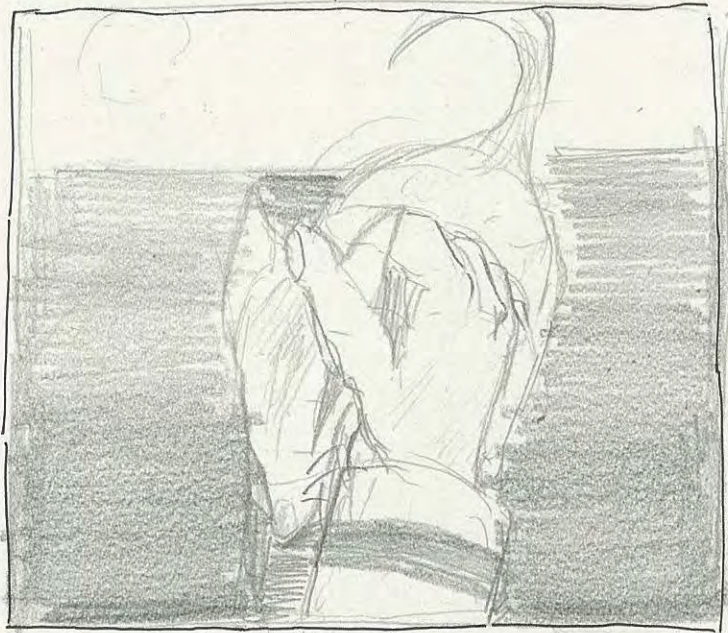
提出課題：「空想の〇〇〇」のプロデューサーとして自由にプランを企画してください。



3メートルを越えろ

ジャイアントモアと一緒に。

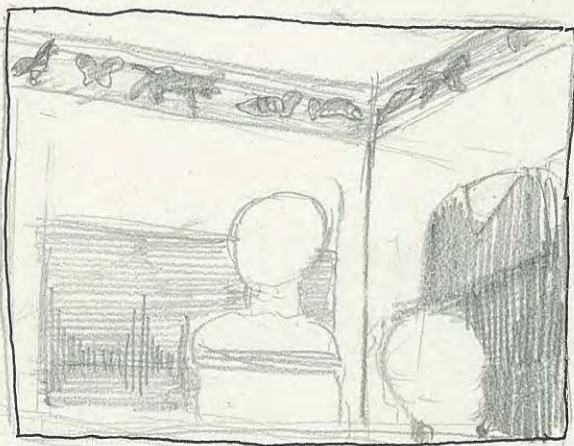
(1500年代前に絶滅)



フタアシバニディクート

を撫でていとろ。

(1907年に絶滅)



絶滅動物と美術作品

天井近くに絶滅した

動物のミルエイトが

見える。